

## パラグアイ・ラパス日本語学校生徒との オンライン交流授業 ご取材のお願い

- ✓ JICA中国では2021年度事業として中四国の教員を対象に「教師国内研修」を実施しており、昨年8月に南米パラグアイの日系社会とのオンライン交流を行いました。
- ✓ そこで生まれた縁が続き、このたび「教師国内研修」に参加した教員が所属する学校の生徒と、広島県からの移住者の子弟も多く通う「ラパス日本人学校」の生徒がオンライン交流を行います。

広島は、全国第一位の移民送出県。戦前戦後あわせて約11万人が北米や中南米へ移住し、一世紀以上が経った現在、世界各地で広島にルーツをもつ日系人が活躍しています。中でも、1956年に県東部の沼隈町（現福山市沼隈町）が町主導でパラグアイへ集団移住を行った「町ぐるみ移住」は、全国でも大変珍しいケースで、移住先となったフラム（現ラパス）を中心に、現在も2世、3世が生活しています。「ラパス日本語学校」は1956年に創立され、幼稚園～中学3年生までの子どもが、現地学校で通常の教育を受けながら、自身のルーツである日本の文化に触れ親しんだり、日本語を学んだりしています。

### もう一つの日本、パラグアイの日本語学校の生徒と広島の中学生との 国境と時差を越えた交流をぜひご取材ください。

- 日 時：2022年3月13日（日）8：00～9：00（日本時間）
- 場 所：AICJ 中学・高等学校 教室（広島県広島市安佐南区祇園3丁目1-15）
- 実 施 者：福島 未希 教諭  
（2021年度 JICA 中国教師国内研修参加／元青年海外協力隊（モンゴル・理科教育））
- 内 容：（予定）
  - ・参加生徒による自己紹介
  - ・自国の紹介（ラパス側からはパラグアイ紹介、日本側からは日本の紹介）
  - ・質疑応答
 ※事前に双方による自己紹介ビデオレターを交換しています。
- 実施方法：Zoom 使用（参加生徒も各自宅より接続する可能性があります）

※ご取材頂ける場合は、下記担当者へご連絡ください。

<p>【本件に関するお問い合わせ・詳細】</p> <p>JICA 中国 市民参加協力課 担当：新川</p> <p>TEL：082-421-6305 FAX：082-420-8082</p> <p>E-mail：<a href="mailto:jicacice@jica.go.jp">jicacice@jica.go.jp</a></p>	<p>地域から世界へ、世界から地域へ 元氣をつなぐ JICA 中国</p> <p>JICA 中国ウェブサイト</p> 
---	--